

10月は職業奉仕月間・米山月間です

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

# 水海道ロータリークラブ



2006 - 2007年度 テーマ

心の中にロータリーを

地域と共に

2006-07 年度 国際ロータリー会長  
ウィリアム・ビル・ボイド

次回例会予定

11月1日 会員卓話 北村 仁会員

VOL. 44 No.15 (通算No.2098)

2006年 10月25日(水)例会プログラム  
点鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話

青木全弘会員



国際ロータリー第2820地区 佐藤 衛ガバナー

2006 - 2007年度

会長 松村 仁 寿

幹事 青木 正 弘

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

例会報告 Vol 44 No. 14 (No. 2097) 10月18日(水)晴れ (司会石塚克己委員長)

### 本例会での主な事項

#### ガバナー公式訪問 佐藤 衛ガバナー

会長挨拶 松村仁寿会長

外部卓話 佐藤 衛ガバナー

### ピ ジ タ ー

国際ロータリー第2820地区 ガバナー 佐藤 衛様(水戸南RC)

国際ロータリー第2820地区 地区副幹事 一毛 裕之様 (水戸南RC)

第8分区ガバナー補佐 片桐 武美様 (守谷RC)

### 諸 報 告

#### 社会奉仕委員会 (武藤康之委員長)

10月14日(土)のグランドゴルフに多数のご参加を頂きありがとうございました。

### 張 栄順さんからのお礼の手紙

水海道ロータリークラブの皆様へ

アンニョンハセヨ。私は以前1999年から2000年にかけて米山奨学生として水海道の皆様にお世話になった張 栄順と申します。懐かしい思い出ばかりで今も奨学生の時のことを時々思い出します。東京へ演劇や歌舞伎を見に行ったことや新年会のいろんな行事に参加したこと、そして飯塚先生のお宅で薩摩芋のパーティーに留学生を招待してくださって楽しい時間をすごせたことなど、友人とその当時のことを楽しく話したりしています。また、毎月水海道のロータリークラブの会議に参加させていただいた時にもロータリークラブのみなさにいろいろと教えていただき、優しくしていただいたことは忘れられません。あの時はそういうところから日韓の文化交流が始まるということ意識しておりませんでした。振り返って考えてみると、ロータリークラブの皆様を通して日本の文化や日本人に対する理解が深まったと思います。いろいろとありがとうございました。感謝しております。

そして飯塚先生を通してお話を伺ったのではと存じますが、先月の24日に韓国の大田で筑波大学時代からの研究仲間であった中根隆行さんと結婚式を挙げました。挙式当日は日本から飯塚先生ご夫妻にお越し頂き、本当に嬉しかったです。さらにロータリークラブの皆様から感謝状およびプレゼントまでいただきました。主人ともども心から御礼申し上げます。ロータリークラブの皆様からいただいたお気持ちを忘れることなく、二人で幸せな家庭を作っていきます。誠にありがとうございました。



## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

### 幹事報告 (青木正弘幹事)

週報受理 なし  
例会変更通知受理 なし

### 会長挨拶 (松村仁寿会長)



皆さん、こんにちは。

本日は、ガバナー公式訪問です。佐藤 衛ガバナー、一毛裕之地区副幹事、片桐武美ガバナー補佐、ようこそお見えになりました。会員一同心より歓迎申し上げます。ご指導のほど宜しくお願い致します。

さて、私達の生きる目的は何でしょうか？学ぶことです。何を学ぶために生きるのでしょうか？

学ばなければならぬ唯一のことは、どうすれば自己にとらわれないようになるかということです。私たちはそれを学ばなければなりません。学ばないわれには行きません。ひとりで学ぶことができなければ、強制されるでしょう。遅かれ早かれ私たちは自己と決別せざるを得ません。最後の日を迎えるまで自己にとらわれているかもしれません。あるいは自然に、徐々に、自己の心が消えうせて周りの人達のために、自ら望んで犠牲を払うことに喜びを感じるようになってきます。そうです、自己と決別できるかもしれません。

会員同士の親睦と、事業の繁栄を目的にしてロータリー・クラブが設立され、いまだ物質的相互扶助の全盛期にあった1912年代に他人のことを思い遣り他人のために尽くそうという、現代にも通用する奉仕の理想を示唆したポール・ハリス、素晴らしい人だと思います。

私達の生きる目的は何でしょうか？

学ぶことです。

何を学ぶのですか？

人生を学ぶのです。

人生から何を学ぶのですか？

人生から学ぶのは唯一のことです。人生を送る中でいかにエゴと決別するかを学びます。

### ガバナー卓話 国際ロータリー第2820地区 佐藤 衛ガバナー



ただいまご紹介をいただきました、本年ガバナーをつとめさせていただいております佐藤衛と申します。本日は、第八分区片桐ガバナー補佐とともに公式訪問にお伺いいたしました。

水海道ロータリー・クラブの皆様には、平素より地区の運営と活動に対しご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。また、北村諮問委員、瀬戸青少年交換委員長、石塚 H.P.運営委員に出向いただき地区運営の中枢を担っていただいております。改めまして感謝申し上げます。

まず最初に、6月に開催された国際年次大会のご報告を申し上げます。6月13日第3回一般セッションの中で、特別業務セッションが開催され、2007-2008年度RI会長選挙の際の理事会決定に対する提訴とブラジルの地区ガバナー選挙の際の理事会決定に対する提訴についての代議員投票に於いて皆様からお預かりした信任状より付与された投票権を行使して参りました。

さて、ビル・ボイド本年度RI会長の提唱されたテーマは、「率先しよう」であります。これは未来のよりよい社会の実現のためそれぞれのできることをそれぞれの方法で先頭に立って実践しようと呼びかけています。また、このテーマには「ロータリアンが世界を変える力を持っている」というボイド会長の信念を表しているともいっておられます。

## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

私たちロータリアンが一番率先しやすいことは、ロータリー活動ではないでしょうか、出席や増強、例会の充実など自クラブの活動を個々の会員が率先することにより、より多くの地域社会のニーズや、国際社会のニーズを感じることができ、より効果的な奉仕につながると信じております。

7月1日のガバナー会に於いて今年のテーマ「率先しよう」をもっとわかりやすくするために、「率先しよう、まずあなたから」と「まずあなたから」をつけるとすごくわかりやすくなるという話を聞きました。なるほどと思いましたが、自分は若輩者で、そのようなことを申し上げては、何を生意気のことを言ってるんだとしかかれてしまいそうなので、わたしは、「率先しよう、まず自分から」と言い換えることにしました。是非皆様も、そのように言い換えて率先垂範なさっていただければと思います。

ボイド会長の強調事項は昨年に引き続いての「水保全」「識字率向上」、「保健および飢餓」そして再び取り上げられた「ロータリー家族」です。

水についてはよく言われることですが、地球上の水の2.5%しか真水はなく、そのうち氷河や極の水が68.7%地球深部の地下水30.1%永久凍土0.8%とその中で私たちが使える大気中や地表近くの水は0.4%しかないので、つまり水の惑星といわれるほど豊富な水を誇る地球全体の水量の0.01%しか使えないのです。

世界の水消費量は1990年からの6年間で6倍に増えており、これは人口増加の倍以上の速さになっています。国連の調査によると、現在60数億の世界人口のうち14億人が安全な水を飲めず、26億人が下水施設などのまともな衛生施設を持っていません。世界人口の18~20%が水に関連した病気にかかり1日6,000人が死亡しています。しかも、そのほとんどが5歳以下の子供なのです。

日本にいと、なかなか水問題の深刻さが実感できません。しかし、日本は食糧の輸入大国です。食糧の自給率は40%しかありません。他の先進国はカナダの161%を筆頭に、フランス132%、アメリカ125%、ドイツ96%、イギリス74%ですからいかに日本の食糧自給率が低いかおわかりだと思います。

穀物1トンをつくるには1,000トンの水がいるといわれていますので、日本の食糧は世界各地の水に支えられているということを考えると私たち日本人にとっても水問題は深刻なのです。

このような状況下、私たちも何ができるかをそろそろ考えなくてはならないような気がします。

次に、「識字率」ですが、私たち日本人にはあまりなじみがないと思っていた問題でしたが、昨年度萩原ガバナーの「国内の外国人に対する識字率向上」のお取り組みにより、当地区のロータリアンにとっては、身近な問題として認識することができました。また、いろいろな場でお話をさせていただきました結果、他地区にもこの活動が広がることになりそうです。

ボイド会長もいっておられますが、識字率の向上は国家や社会の安定と反映に欠かせないもので、個人の識字能力は生命の安全や、貧困からの離脱などその個人の生存権に欠かせない重要な要素であると考えます。「識字率」の問題は一朝一夕に解決することではありませんので、地区といたしましては今後も引き続き活動していこうと考えております。

「保健および飢餓」については、日本ではポリオ・プラスというロータリー財団の業績で、すべてのロータリアンの知るところとなっていますが、2006年1月現在、症例を報告しているのは8カ国のみ(インドネシア、イエメン、ソマリア、エチオピア、アンゴラ、ネパール、ニジェール、チャド)にまで押さえ込まれており、根絶への光が見えてきたといわれております。しかし、まだまだ撲滅までには数億ドルの資金が必要といわれておりますのでポリオ・プラスへの寄付もよろしくお願ひしたいと思います。

強調事項の最後は「ロータリー家族」であります。これは、一昨年以来再び取り上げられました。特に今回はロータリアンの家族ばかりではなく、新世代、つまり、青少年交換、インターアクト、ローターアクトといった青少年プログラムに目を向け、その重要性を述べておられます。

ロータリーの未来ひいては国家の未来を左右する青少年にたいしどうすれば私たちロータリアンが模範を示すことができ、彼らの中に寛容や誠実さを育むことができるのでしょうか。今年私は、青少年育成委員会を新設いたしました。2003-2004年度片岡ガバナー時代に作成したロータリー派遣講師リストと職場体験受け入れリストを再整備し、このすばらしい青少年育成のためのプログラムを、軌道に乗せたいと思

## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

ったからです。こんなにすばらしいものをただ埋もれさせていいわけがありません。

青少年を取り巻く社会や教育の荒廃が叫ばれている今、教育現場のニーズとして学外講師や体験学習が重要視されつつあります。ロータリーの豊富な人材と体験の場を提供することは、私たちに課せられた責任であると考えます。できるだけ多くのロータリアンにご登録をいただきたいと思います。そして、積極的に自治体や学校にアピールをしていただき、プログラムを推進していただきたいと思います。

ここで、地区から皆様をお願いをしている目標についてお話しいたします。

まず、増強ですが1クラブ1名純増です。1名の純増というと簡単なように聞こえますが、その難しさはよくおわかりのことと思います。これはRI会長賞の必須項目になっています。

次に、強調事項に関連するテーマでの1プロジェクトの完遂をお願いいたします。クラブ単独で完結するプロジェクトもすばらしいことですが、国際奉仕事業や社会奉仕事業での、他クラブあるいは地区との合同事業にも是非力をお貸しいただければ、あまり積極的に事業を推進されないようなクラブへも、もっと感動を広げることができるのではないかと考えています。

3番目は、RI会長賞申請権利の獲得です。この条件は、1名の純増と「会員増強」「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の5分野のうち4分野からそれぞれ一つの活動を遂行するという事です。それぞれの分野の一つの活動といいますが、5 つすべての分野にすでにやられている活動が一つは必ず入っていますので、純増1名と強調事項に関するテーマでの1プロジェクトを完遂いただければ申請の権利は獲得できるはずですのでこれを目標にクラブの活性化を図っていただきたいと思います。

ロータリー財団支援に関しては1人130ドル以上の年次寄付と、お1人の新ベネファクターをお作りいただきたいと思います。ご存じの通り年次寄付の50%が3年後にDDF(地区財団活動資金)として地区へ帰ってきます。つまり、私の年度に寄付額を減らすと3年後のガバナーにご迷惑をかけるということになります。

米山奨学事業では、普通寄付と特別寄付の合計1人あたり20,000円以上の達成をお願いいたします。現在23名の奨学生がおりますがそれでも、お世話いただけるクラブは半数に満たないということになります。これも寄付額が減ってしまうと、奨学生の数を確保できなくなってしまいます。

さていろいろ申し上げましたが、最後にもう一つお願いがございます。それは、ロータリーを語り合ってほしいということです。昨今、ロータリーの問題ということと会員の減少と、出席率の低下など目の前に具現している問題ばかりが取り上げられ、その問題の本質にまで掘り下げた議論がなされているでしょうか。

会員の減少や出席率の低下は、ややもするとRIや地区や自クラブの運営面、すなわち資金確保や人員確保でのみかたられ、ロータリーの質や存在意義の希薄化、帰属意識の低下など、本来議論されなければならないことが議論されないクラブになっていやしないでしょうか？ロータリーって何？職業奉仕って何だ？社会奉仕と職業奉仕の違いは？そんなことが、議論されたらもっとよいクラブに、効果的なクラブになると思っています。

時代の変遷や、ニーズの多様化に対応し100年続いたロータリーだからこそ、1905年ポール・ハリスが創設した当時のロータリーの思想や、私たち日本のロータリアンの先達がロータリーの日本化を試みたあかし「大連宣言」を知っておく必要があるのではないのでしょうか。そんな過去を語り、ロータリー現状や未来を議論することが、ロータリーのさらなる100年に向けて、日本のロータリーのさらなる成功に向けて今必要なことのような気がしてなりません。

結びに、水海道ロータリー・クラブのますますのご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、私の卓話を終えたいと思います。ご静聴ありがとうございました。



## 10月は職業奉仕月間・米山月間です



### 出席報告 (染谷正美委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
48名	44名	4名	0名	9名	100.00%

### ニコニコボックス (海老原良夫副SAA)

入金計 ¥77,000 累計 ¥824,000

佐藤 衛ガバナーよりニコニコボックスへいただきました。

今日、宜しくお願いします。時間がなくてニコニコボックス遅れてすみません。片桐武美ガバナー補佐

佐藤 衛ガバナー、片桐ガバナー補佐、一毛副幹事、ご指導宜しくお願い致します。松村会員

佐藤 衛ガバナー、水海道の地へようこそ。快晴の元歓迎申し上げます。青木(正)会員

佐藤 衛ガバナー、片桐ガバナー補佐、一毛副幹事、宜しく！！会員一同ご歓迎申し上げます。

大串会員

佐藤ガバナー、遠方よりお越し頂き有難うございます。田上会員

ガバナーの佐藤様、ガバナー補佐の片桐様、ようこそいらっしゃいました。ご指導のほど宜しくお願い致します。島田会員

佐藤ガバナーようこそ。ご苦労様です。宜しくご指導ください。北村(仁)会員

佐藤ガバナー宜しくお願いします。また会員の皆様には米山奨学会へのご協力を引き続きお願いいたします。

秋田会員

ガバナー公式訪問ご苦労様です。11月、米山に続きロータリー財団月間です。宜しくご寄付お願いします。松崎会員

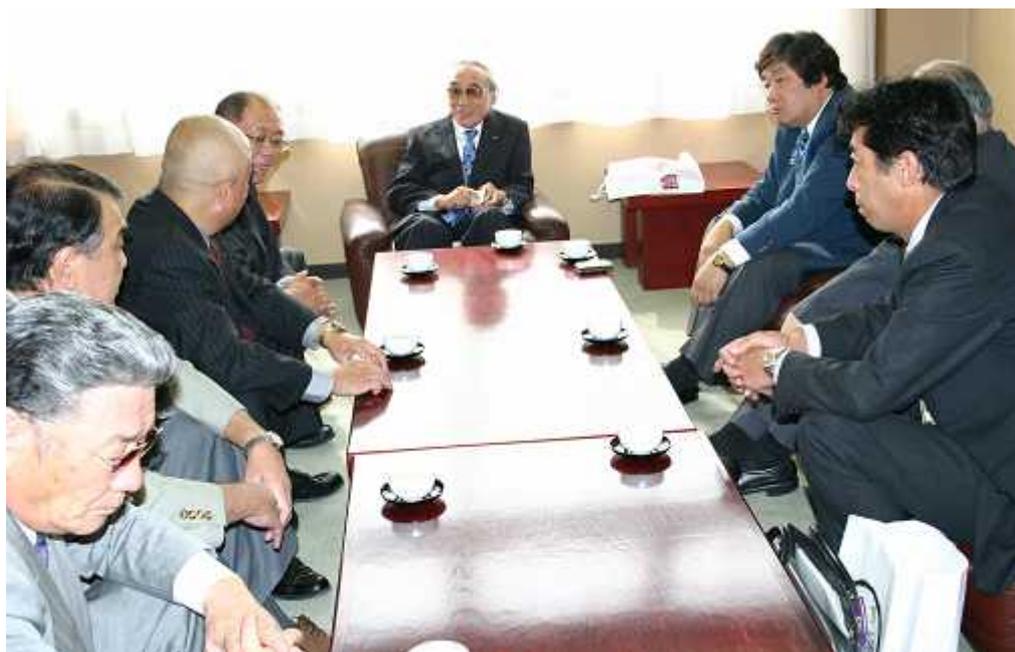
佐藤 衛ガバナー、片桐ガバナー補佐、ようこそ！！松坂・青木(全)・中川・小島・青木(清)・白井・熊谷・斎藤・染谷(秀)・武藤・角田・長塚・横山・石塚(利)・穂戸田・北村(英)・石塚(克)・鈴木(豊)・海老原・登坂 各会員

先日、守谷RCへのメークアップご苦労様でした。染谷(正)会員

例会欠席しました。染谷(昭)会員

会報委員会 委員長 角田雅宣 副委員長 北村 仁 委員 山崎善市

10月は職業奉仕月間・米山月間です



10月は職業奉仕月間・米山月間です

# グランドゴルフ大会

平成18年10月14日(土)



ご参加頂きました会員の皆様、お疲れ様でした。